



こんにちは 東郷まさあきです

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください
野洲市比江864 (☎589-4158)
2018年9月30日 No.107

**定例市議会
閉会26日**

引き続き次号でも
議会報告をします。

8月26日から始まった定例市議会は26日終了しました。
前年度決算の審査を主な内容でしたが、最終日に9月4日の台風21号被害関連予算が提案され賛成賛成で可決されました。

共産党市議団は今議会に3本の意見書を提案しました。「西日本豪雨の教訓から災害に備えるための整備を求める意見書」は残念ながら反対多数で否決となりました。以下、2本の意見書をご紹介します。



西日本豪雨の教訓から災害に備えるための整備を求める意見書

近年、台風、集中豪雨等による記録的豪雨で洪水や氾濫が多発し今年7月の西日本豪雨では200名を超える死者が出るなど甚大な被害が発生しました。

異常気象により、全国各地で河川の氾濫や土砂災害などにより想定外の被害が発生しています。こうした自然災害はいつどこで起こるのか予想がつかないだけに厄介なものです。

このような災害は年々増加傾向となっていますがいつどこで洪水が発生しても人の命と暮らしを守るための整備が必要です。よって政府におかれましては百年に一度、千年に一度の災害に耐えられる強い町づくりのための備えが必要です。

よって政府は西日本豪雨の教訓から

- ①防災事業に係る人・命・暮らしの整備に必要な予算の拡充を進められること。
- ②河川の浚渫や中州における樹木伐採を計画的に進めること。
- ③急傾斜地崩壊対策、砂防などの土砂災害防止施設等は新規施設に加え維持管理についても予算に十分な財政措置を行うこと。
- ④急傾斜地崩壊防止施設の整備を進めるために10メートル未満のかけ等についても財政措置の拡充をはかれること。

賛成	野並 東郷正明 工藤 鈴木 山本 田中 長谷川
反対	荒川 稲垣 岩井 坂口 立入 津村 東郷克己 橋 山崎

学校給食並びに全ての乳幼児及び幼児の幼児教育に係る費用の無償化を求める意見書

文部科学省の調査では、平成27年度現在の国公立学校の完全給食実施率は小学校 99.1%、中学校88.1%、特別支援学校89.5%、夜間定時制高校77.5%となっており、その広がりは全国的なものとなっています。

そうした中で、2015年5月で学校給食の平均給食費は公立小学校で4,301円・公立中学校で4,921円となっており若い世代の非正規雇用が広がるなかで、子育て世代にとって重い負担となっています。

子どもの貧困を背景に、学校給食の役割に注目した自治体間で学校給食の無償化の動きが広がっており2016年度では61市町村が実施しています。しかし、各自自治体任せにするのではなく国が財源の確保をし、全ての小・中学校の子ども達が家庭の経済状況にかかわらずおいしい給食が食べられるよう国の施策として実施されるよう求めます。

また、2019年10月から非課税世帯に属する0歳から2歳までの乳幼児及び3歳以上の幼児の幼児教育に係る費用の無償化が検討されており、課税・非課税を問わず、全ての乳幼児及び幼児の幼児教育に係る費用の無償化が求められる。このことから国におかれましては、早期に全ての乳幼児及び幼児の幼児教育に係る費用の無償化を実現されるよう強く求めます。

賛成	野並 東郷正明 工藤 山本 田中 長谷川
反対	荒川 稲垣 鈴木 岩井 坂口 立入 津村 東郷克己 橋 山崎

除草や側溝の修繕を要望しました

野洲川右岸線(比江地先)では、歩道一面に雑草や街路樹の枝葉が繁茂し通行が危険です。松林団地入口の側溝では、痛みが激しく歩行者に危険です。26日、市担当課に「早期に除草や枝払いを行うこと」を求めました。松林団地では団地内全体の道路舗装の改修も必要です。



▲歩道を覆いつくす雑草
人の背丈ほどまで垂れ下がる街路樹の枝葉



松林団地入口の側溝が割れて危険です